

短編アニメーション

しんちゃん の さんりんしゃ

広島原爆資料館の
赤錆びた三輪車は

あの日まで
こんなにもたのしいゆめを
のせていた…



童心社刊 しんちゃんさんりんしゃ

原作 児玉辰春・絵 おぼ まこと

監督 出崎 哲

製作 (有)広島映画社

広島市佐伯区五日市 4-15-15

電話 082-923-0645

24分

配給・発売・(有)淡路映像プロモーション

TEL 0799-42-0444 / FAX 0799-42-0453

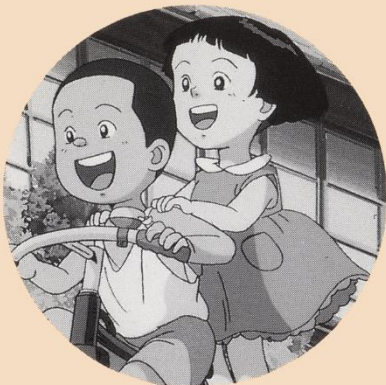
出崎 哲監督作品

しんちゃん の さんりんしゃ

保育所
幼稚園
学校
専用

DVD
VIDEO

被爆70周年映画



まつ黒なおべんとうにつづく 児玉先生の本の映画化。原爆資料館の三輪車は、三才の伸ちゃんが大のしいゆめをえがいてのついでです。

戦争で食べるものもないときですから、三輪車は、ごもにとつては宝ものでした。伸ちゃんはどんなゆめをえがいていたのでしょうか。

◆ものがたり

伸ちゃんと君ちゃんはだいの仲良しです。三輪車の絵本をみてはたのしくあそんでいました。ところが、君ちゃんのお父さんが戦争で死んでからは、あそびはなくなりました。ひとりぼっちになった伸ちゃんは「さんりんしゃがほしい」と言つてごはんも食べずに家を出ていきました。

兵隊に行くことになったおじさんが、さんりんしゃをもつてきてくれました。伸ちゃんはおおよろこびで「君ちゃん、さんりんしゃだよー」と さつそく君ちゃんの家に行く。君ちゃんは「いいねえ」といって、またなかよくあそびはじめました。

伸ちゃんは、君ちゃんと三輪車で水の上をはしつたり、空をとんだりするゆめをみました。

八月六日朝も 二人はあそびにでかけました。ピカッとひかり、伸ちゃんのゆめは消えてしまいました。

このDVDは、複製・改変・放送・有料上映すると著作権法違反となります。